

ねぎの優良品種の選定及び地域適応性の検証

要約

『夏扇パワー』及び『項羽一本太』は、『冬の宝山』よりも高温や軟腐病に強く、夏越し性に優れている。これらの品種を河内地域で栽培した場合、収穫適期は『夏扇パワー』が11月下旬から1月中旬、『項羽一本太』が12月中と考えられる。

○展示のねらい

水田における秋冬ねぎにおいては、夏季の高温による襟裂けや軟腐病の発生等による品質低下が問題となっており、夏越し性に優れる品種が強く求められている。そこで品種比較栽培を行うことで、優良品種の選定及び地域への適応性を検証する。

○主な成果

表 生育及び収量の調査の結果 ※各試験区5株測定した平均値

	11/22 2回目土寄せ終了後				12/21 3回目土寄せ終了後				1/31 収穫調査			
	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g)	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g)	葉鞘長 (cm)	軟白長 (cm)	葉鞘径 (mm)	一本重 (g)
夏扇パワー	21.6	16.2	23.3	218	29.7	18.8	23.9	235	33.5	22.5	24.9	215
項羽一本太	28.5	11.4	19.8	170	26.5	19.9	24	217	30.9	22.1	23	184
冬の宝山	29.1	17.3	17.1	150	29.7	22.1	18.9	154	32.8	26.2	21.5	165

- ・『夏扇パワー』及び『項羽一本太』は、『冬の宝山』よりも軟腐病に強いと考えられるため、夏越し性に優れていると考えられる。
- ・『夏扇パワー』は、11月の調査でも十分な生育が見られることから、収穫適期は11月下旬～1月半ばであると考えられる。『項羽一本太』は収穫時まで葉鞘長等の伸びが見られるが、1月以降葉枯病や葉折れにより収量が減少することから、12月上旬～下旬に収穫する方が良い。これらの結果から、『夏扇パワー』は『項羽一本太』よりも在ほ性に優れることも分かった。

○今後の方向性

『夏扇パワー』及び『項羽一本太』の収穫は、下記の河内地域におけるねぎの品種別適応模式図を目安として作業を進めていくことが望ましい。

※ただし、今後夏季の高温多湿による軟腐病の発生は避けられないと考えられることから、水はけの良し悪しに関わらず、額縁明渠等排水対策を講じ、適期作業を心がけること。

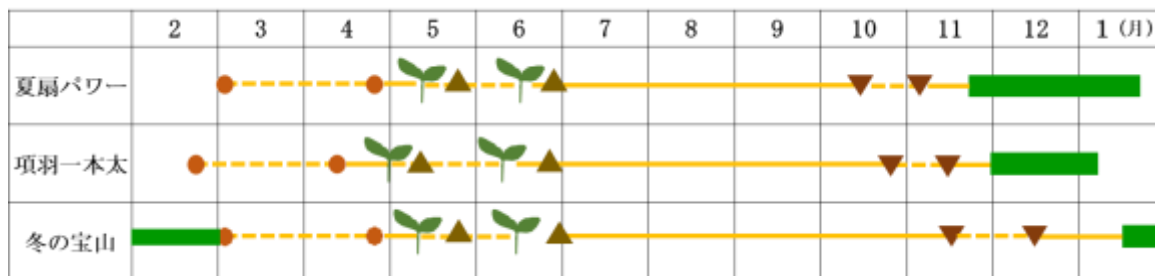


図 河内地域におけるねぎの品種別適応模式図 播種：● 定植：🌱 土入れ：▲ 止め土：▼ 収穫：■

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315